

参加
無料

自治体DXで変わる 窓口サービスと職員の働き方

令和4年

8月5日(金)

セミナー内容

大宮会場

13:00~16:45 (12:30開場)

会場：明治安田生命さいたま新都心ビル
ランド・アクシス・タワー22階

定員：54名 自治体職員限定

自治体DX

第1部 (13:10~14:00)

『持続可能な行政運営を目指したDX』

講師：有限責任監査法人 トーマツ 三輪大介 氏

生産年齢人口の減少が続く日本社会では、自治体でも人手不足が行政運営上の課題となることが想定されます。自治体が行政運営の持続可能性を確保するためには、業務のやり方を抜本的に見直し、業務効率を上げ、少ない職員で業務を完結させる仕組みを構築する必要があります。その手段として、自治体DXは大きなチカラになります。

本講演では、自治体がDXに取り組む意義を明確にした上で、リモートワーク、ペーパーレス、システム等標準化及び行政手続のオンライン化といったテーマを素材にしてDX・BPRの考え方について事例を含めご紹介いたします。



窓口業務改善

第2部 (14:10~15:00)

『「新しい日常」における自治体の窓口サービスとは』

講師：合同会社社会情報サービス研究所 代表社員
株式会社コミクリ総研 主幹研究員 瀧口樹良 氏

コロナ禍において、「新しい日常」が定着した社会に向けた自治体の窓口サービスの実現が求められています。そのため、従来の自治体の窓口対応から、非対面型または来庁不要といった新たな自治体の窓口対応へと転換を図っていく必要があります。

そこで、本講演では、紙の届出書や申請書の受付を前提とした従来の自治体の窓口サービスの提供方法から、デジタル化の適応を前提とした窓口対応といった新たな自治体の窓口サービスの提供方法へと転換を図っていくため、従来の受付手順を抜本的な見直しの実施などの自治体の窓口サービス改革の必要性について、自治体の取組事例などを踏まえて解説します。



働き方改革

第3部 (15:10~16:00)

『自治体窓口職場の職員の働き方を変える』

講師：合同会社KUコンサルティング 代表社員 高橋邦夫 氏

自治体DX推進に取り組む自治体が増えていくと、システムの標準化や申請のオンライン化など窓口業務には大きな転換が求められることとなります。一方で、窓口職場の職員には無線LAN対応のパソコンが支給されない、テレワークの対象とならないなど、働き方改革から切り離している自治体が多いのではないのでしょうか。自治体DXが進むことで窓口職場の職員も働き方を変える必要があることを、元自治体職員で、現在は複数の自治体でCIO補佐官を務めている講師が説明します。窓口職場の職員はもとより、企画・総務部門の職員にも聞いていただきたい内容です。



庁舎づくり

第4部 (16:10~16:40)

『これからの庁舎づくり~自治体職員が生き活きと働ける場とは~』

講師：株式会社オカムラ

社会環境の変化、ICT技術の革新等により、人々の価値観や求められる行政ニーズは多様化しています。そのような中で、より実効性のある住民サービスを提供するためには、DX推進とともに、職員が生き活きと働くことができる環境を整えることが重要なテーマであるといえます。長年庁舎づくりに携わり知見を積み上げてきた立場から、これからの職員の働き方や、その働き方を実現するための空間づくりのポイントを先進事例とともにご紹介いたします。



「働き方改革」の現場
ラボオフィスを見てみよう！

A 11:00~11:45

B 11:45~12:30

C 16:50~17:35

希望制 定員各10名

オフィス見学会

in オカムラ 大宮Enter!!ラボ

会場

埼玉県さいたま市中央区新都心11-2
明治安田生命さいたま新都心ビル ランド・アクセス・タワー
22階 大会議室

アクセス

JR京浜東北線・宇都宮線・高崎線
「さいたま新都心駅」西口 徒歩1分
JR埼京線「北与野駅」東口徒歩8分



セミナー・見学会の申込 (8/1締切)

<https://iam.movabletype.io/seminar-o.html>

* 定員に達した場合は、申込受付を終了させていただきます。(1自治体3名様まで・先着順)

* 新型コロナウイルス感染症対策を講じ、セミナー・見学会を運営致します。

運営方針・注意事項は申込フォームでご確認ください。



主催：一般財団法人行政管理研究センター 協賛：株式会社オカムラ

問い合わせ先：自治体職員向けセミナー事務局

✉ wkstseminar@iam.or.jp